

# いきいきパークセンター便り

第4号

令和8年1月1日発行

冬の朝の幸せな風景～武蔵ヶ丘中学校の生徒の

皆さん・先生方ありがとうございました



今年の秋は、十一月まで暑い日が続き、本センター正門前の銀杏も緑のまま葉を落とすのでは?と思つていきましたが、十一月末から十二月にかけ色づき、一気に葉を落としていきました。銀杏は、太陽や夕日に照らされると光輝き、また落ち葉の絨毯も本当に美しかつたです。ただ、銀杏の葉は掃除が大変。しかし、落ち葉が落ちるのを待つてました

ざいました。

単発主催講座、無事開催できました！



今年度予定していた10の主催講座も9月3日の「季節の花アレンジ教室」の閉講式で終了しました。本センターでは、単発での主催講座は長年取り組んでいなかつたのですが職員と相談し、新たなチャレンジとして2つの講座を開設することにしました。ただ、年度途中での募集なので応募があるか心配だったので、町の広報だけでなく、チラシも回覧していただきました。その結果、2つの講座とも定員を上回る応募があり開催できたのでその様子をお伝えします。

の掃除をするシルバーの方も「ホント助かります」といつも感謝されています。12月の運営委員会で校長先生にもお礼をお伝えしあ話を伺うと、このボラティアは、生徒会の呼びかけに自分の意思で参加している中2の生徒さんたちだそうです。毎朝寒い中、生徒・先生関係なく、一生懸命みなさんで掃除してくださる姿と元気な挨拶で朝からとても幸せな気持ちになります。ありがとうございました。

## くじに役立つ漢方入門 11／15

この講座  
の開催は、



8月に講師の先生自ら「講座で漢方のことをお話させていただきたいのですが・・・」と訪ねて来られたことがきっかけでした。私自身が漢方のことよくわからなかつたので応募がどれくらいあるか心配しました。当日は、定員を超える10名の方が参加されました。今回の内容は、漢方の基本的なことだけでなく途中ツボ養生なども入れながら冬直前ということで風邪や冷えなどに関する漢方の話をされました。各講座生は、「自分や家族の健康のために漢方について学びたい」という意欲が溢れ真剣に話に耳を傾けられてました。講座が終わつた後も相談されている方もいらっしゃいました。来年度も単発主催講座をお願いしようと思つています。講師の先生が講座名のサブタイトルとして書かれていた

「あなたが我が家のお医者さん」になれるよう一度お話を聴かれてみてはいかがですか。

がきつかけでした。私自身が漢方のことよくわからなかつたので応募がどれくらいあるか心配しました。当日は、定員を超える10名の方が参加されました。今回の内容は、漢方の基本的なことだけでなく途中ツボ養生なども入れながら冬直前ということで風邪や冷えなどに関する漢方の話をされました。各講座生は、「自分や家族の健康のために漢方について学びたい」という意欲が溢れ真剣に話に耳を傾けられてました。講座が終わつた後も相談されている方もいらっしゃいました。来年度も単発主催講座をお願いしようと思つています。講師の先生が講座名のサブタイトルとして書かれていた

## 手作りで迎える正月リース教室 12／11

こちらの講座も定員を超える10名の申し込みがありました。部屋に入り材料を見られて「生花ですか?」と講座生が言われるぐらいの立派な造花。先生が見本を見せながら簡単に説明をしてすぐに作業開始。細い針金で色々な造花や小物をまとめ、リースに結び付けなければならぬ場面では、「うん難しい」という声があちこちから聞かれました。それでも一時間あまりでそれぞれに個性が光るリースが完成しました。

最後に先生が「みなさん素敵なりースができましたね」と話されると講座生からは自然と拍手が。「難しかつたけど、自分でこんな素敵なりースを作れて、とても嬉しいです」「早く家に飾りたい」など皆さん満足気なお顔。先生も講座生の喜ばれる顔を見られ嬉しそうにされていました。先生とこの講座開設を提案してくれた職員に感謝です。今回、2つの単発講座開設をチャレンジしてほんと良かったです!^^



## 第2回 運営委員会がありました！

12月3日

(水)の午後から第2回運営委員会がありました。この会は、様々な立場からコミュニティセンターの運営についてご意見を伺う場です。会には、中学校の校長先生、保育園の園長先生、自治会長代表、講師代表、講座生代表、所長など計9名が出席されました。協議では、コミセン便りの話題はじめまり高齢化に伴う地域コミュニティの希薄化について各委員さんから貴重なご意見をうかがうことができました。センターからは、センター祭の課題や来年7月から予定されている改修工事に伴う閉館(R8年7月～R9年3月末の予定)について説明しました。今回、出された意見を参考にコミセンの更なる充実をめざしていきます。



### 「おじゃまします！自主講座⑤」

#### ペン・書道

この講座は、第2・4

りに幸せな気持ちになりました。手前みそで申し訳ありませんが、センターには私の他に2名女性職員がいます。以前には、他の施設と間違えて検診に来られた高齢者の方が、行くべき施設の道がわからず困つてらっしゃった時は、「ちょっと一緒に行つてきます」とその施設まで連れて行つたということもあります。この他にも2人の対応に感心させられたことがあります。武蔵ヶ丘コミュニティCCが利用者の皆さんに寄り添い、愛されるセンターになるよう私も頑張ります！（下段の写真は、年末に自主講座の詩吟の奏山会の先生からセンターと私たちにと、今年も正月締め飾りをいただいた時の写真です。ありがとうございました。）



コミセン日記 12/5(金) & 12/16(火)

センターの印刷機を借りに、よく自治会の方が来られます。その日も「すいません、初めて印刷機を使うのですが…」と玄関で申し訳なそうにおっしゃられました。すぐに職員が「大丈夫ですよ、お教えします。」と印刷機へ案内し、横について電源の入れ方から印刷機の片づけまで丁寧に教えていました。北新山の自治会の役員の方でした。「また、利用させて下さい」と笑顔で帰られましたが、横で2人のほのぼのとしたやり取



16時）に開催れます。本センターには、この講座を含め3つの書道に関する自主講座があります。この講座の先生は、菊陽町のある小学校に頼まれ約50年間にわたり書道を教えられている超ベテランの先生です。「暑中見舞いは、手書きじゃないと見る気がしないの」とおっしゃられる先生は、「下手でもい

いから絵を添えると字も映えるでしょ」と素敵な暑中見舞いのはがきを見て下さいました。（スイマセン取材してからだいぶ月日が流れています（；；）講座生も先生や講座生同士の会話を楽しみながら素敵な作品を仕上げられてました。きっと年賀状も心のこもったつた素敵な字に馬の絵などが添えられているのでしょうか。センター祭の準備や後片付けの際、ペン・書道の講座生の方々には何度も、軽トラックを出してお手伝いいただき感謝しています。



ただきました。初めて見た大正琴は、鍵盤を押すと口で優しい琴の音を奏でる不思議な楽器でした。小学生でも簡単に弾けるようになるそうなので、興味があられる方は是非見学にいらして下さい。マーガレット・大正琴さんは、センター祭には出演されませんでしたが、事前準備のお手伝いに講座生に来ていただき有難かったです。



～編集後記～  
センターの掲示板に拡大したカラーのお便りを貼っています。その付近で女性コーラスコールキャロットの講座生の方がスマホ片手にQRコードを読み込もうとされたので「QRコードを読み取るには専用のアプリが必要ですよ」と伝えると、「今時のスマホは、カメラでQRコードを読み込むことができるって娘が言つてました」と逆に教えていただきました。ホント時代の流れに中々ついていけません（；；）

とても簡単なので掲示してあるQRコードを読み込んでホームページから一号～4号までのカラー版コミセン便りをご覧ください！

この講座は、第2・4土曜日の16時から18時に開かれている講座で現在本センターの講座生は3名。中央公民館など他の施設でも先生は講座を持たれており講座生の合計は50名ほど。以前は講座生も100名を超えた時もあったそうです。それでも大正琴歴20年の先生は、今も小学校のクラブ活動で教えられているそうです。見学させていた日は、「花の首かざり」や「岬めぐり」など懐かしい曲を聴かせていました。

